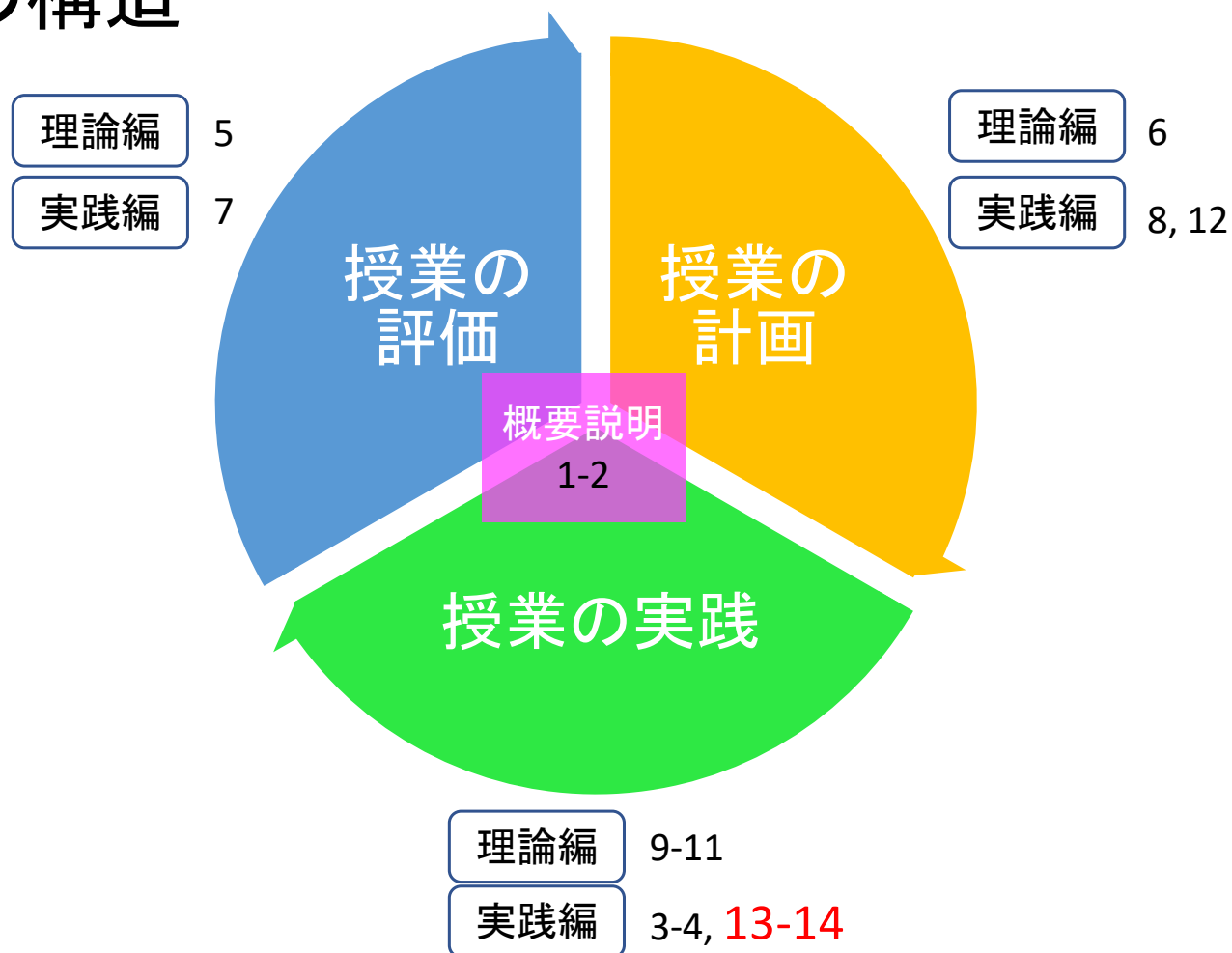


# 大学の授業をデザインする (第13-14回)

九州大学未来人材育成機構  
長沼祥太郎



# この授業の構造



# 本日の学習目標

---

1. 自分の教えるスキルについて、前回からの伸びを認識して説明できる
  - 【自分の実践から】
  
1. 自分の教えるスキルをより高める方法を最低2つ知る
  - 【自分の実践から】 【他の受講生の実践を見て】
  - スキルは言葉で教えてもらうだけでなく、見て「盗む・真似る」ものでもある

# 今日の授業について

- 今日は、2コマかけて**マイクロティーチング（模擬授業）**を行います。

内容	<ul style="list-style-type: none"><li>自分が将来大学で<b>担当しそうな科目</b>を想定</li><li>その中で一つの概念を取り扱う程度（<b>初回の導入はダメ</b>）</li></ul>
形式	<ul style="list-style-type: none"><li>一人<b>15分</b><ul style="list-style-type: none"><li>授業の切り出しではなく、15分間のミニサイズの授業</li></ul></li><li>対象は、一般的大学の1,2年生を想定</li><li>スライド提示あるいは板書など形式は自由</li></ul>
事前提出物	提示資料（pptなど）

（注意事項）

- iPadで**撮影**します。
- 今までの授業を通して、**前回からどれだけ授業スキルが向上したか**に興味があります。
- 成績評価とは**関係大アリ**です。
- 授業者以外は、「**その授業に参加している学生**」として授業を聞くようにしてください。
- 授業デザインシートの演習で学んだことを活かせると思います。

# タイムスケジュール（1人あたり）

	時間	内容
1	15分	<ul style="list-style-type: none"><li>自分が将来大学で<b>担当しそうな科目</b>を想定し、マイクロティーチングを行う</li></ul>
2	5分	<ul style="list-style-type: none"><li>授業者：<b>ループリックを用いたフィードバック</b>を受ける</li><li>参加者：ピア評価シートを記入する</li></ul>

# ピア評価アンケート

Q1	1	2	3	4	5
授業者の声が聞き取れた	1	2	3	4	5
授業者の説明・質問がわかりやすかった	1	2	3	4	5
学習者を見る視線・表情は適切だった	1	2	3	4	5
授業の内容は理解しやすかった	1	2	3	4	5
教材の提示の仕方が工夫されていた	1	2	3	4	5
授業の展開の仕方が工夫されていた	1	2	3	4	5
私はこのマイクロティーチングに集中することができた	1	2	3	4	5

Q2. 授業の中で、自分の授業にも取り入れたい、自分も見習いたいと思った点があれば、自由に書いてください。そのほか、授業の中でよかった点があれば、それも自由に書いてください。

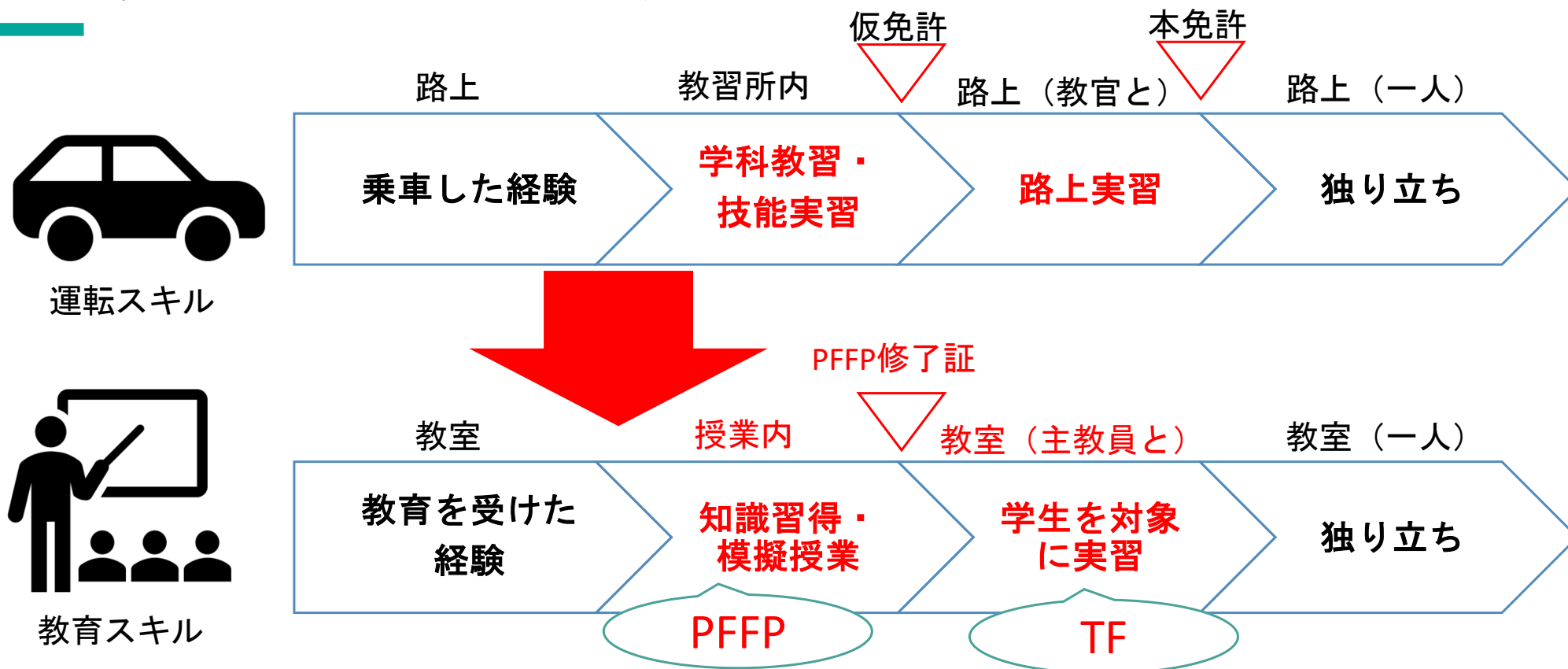
Q3. 授業の中で、「自分だったらこうするな」等、改善案があれば自由に書いてください。

**\* ピア評価の結果は、その人の最終的な成績評価の一部に使います（全体の5%）！**

## 授業実践の評価(25%)

観点	レベル3 模範的	レベル2 発展段階	レベル1 標準的	レベル0 要改善
説明のわかりやすさ	説明は非常にわかりやすかった	説明はある程度分かりやすかった	何を伝えたいのかいまいちよく分からなかった	
動機付け	内容の面白さや重要性など、学生が授業を集中して聴きたくないような刺激を十分に与えた	内容の面白さや重要性など、学生が授業を集中して聴きたくないような刺激をある程度与えた	学生が授業を集中してききたくなるような刺激をほとんど与えず、淡々と授業を進めた	
学生の理解度の確認	タイミングと質の観点で、適切な理解度の確認が十分に行われた	タイミングと質の観点で、適切な理解度の確認がある程度行われた	適切な理解度の確認の機会は、多少はあるものの非常に限定的であった	レベル1を満たさないもの。
目標・構造と授業との整合性	以下のうち、3つとも達成されている。 ・目標と構造がともに提示されている ・目標と構造の質がともに高い ・授業と整合的である	以下のうち、2つが達成されている。 ・目標と構造がともに提示されている ・目標と構造の質がともに高い ・授業と整合的である	以下のうち、1つしか達成されていない。 ・目標と構造がともに提示されている ・目標と構造の質がともに高い ・授業と整合的である	

# この授業の重要性：自動車学校との比較



→気づいた点は、どんなささいなことでも、現場に出る前の今のうちに、しっかりと本人に伝えることが大事！！

## マイクロティーチング振り返り（15分）

---

1. 同じ部屋の人とグルーピングしています
2. 一人に対して、2人ずつくらいが自由にコメントをしていく
  - 前回も同じ部屋だった人：前回との違いに関して＋自由にコメント
  - 前は違う部屋だった人：自由にコメント

## 2回のマイクロティーチングの振り返り

### 説明のわかりやすさ：

- 全体的によい

### 動機付け：

- もうちょっと頑張りたい
- 学習者にとってその内容を学ぶ意義が自明以外の場合は、なぜこの内容を学習することが重要か？を簡単にでもいいので説明すると良い

### 学生の理解度の確認：

- インタラクションは増えていた
- シンクペアシェアの中身をもう少し考えたい
- が、「教えたことができるようになっているか？」に今後はより注目する必要がある

### 目標・構造と授業との整合性：

- もうちょっと頑張りたい
- 目標のレベルを現在のものよりもあげられないか？
  - 例：「説明できる」→？

## まとめ

---

- 将来的には、15分ではなく90分授業を実施することになります。
- 他の人のマイクロ・ティーチングを見ることも自分の授業を改善する良い機会になります。もし取り入れたいと思うことがあれば、次の機会に取り入れてみてはいかがでしょうか（例として、TFや、非常勤講師など）
- 今日撮影した動画は、参加者間でのみ共有されます
  - 自分のマイクロ・ティーチングを客観的に見るチャンスです